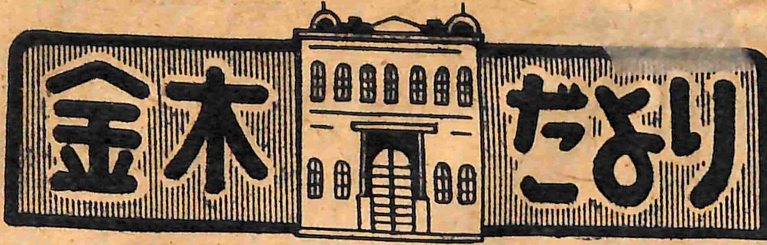


資産調査に協力を

昨年の秋から、ことしにかけて固定資産税の課税の基礎となる評価額が全面的に改正されます。

発行所 青森県金木町役場 編集 企画室 印刷所 東奥日報社事業局



六月の天気予報

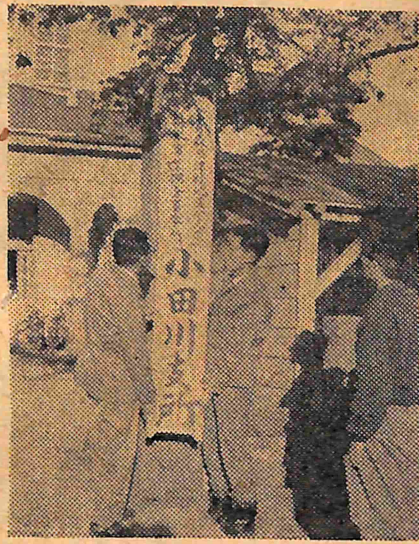
六月の天気予報
気温 ばいめは高いですが、その後は低目の日が現われやすく、月平均でもやや低くなりそうです。

小田川 本格的な調査に入る

昭和40年度に着工か 県、支所を当町に設置

昨年十月、当町出身の津島農林政務次官をはじめ永田仙台農地事務所長一行が来町し、地域農民長年の願であった「小田川ダム建設」については急速に話が進み、国では三十八年度には事業着手の前提といわれる一般調査費が計上され、昭和四十一年度には着工されるのではないかと見通しがつくようになり、農林省では現場に職員を派遣、県は役場庁舎内に支所を設置して本格的に調査をはじめました。

青森県津軽地区かんがい排水事業調査事務所では、小田川ダム建設の促進をはかるため、五月一日付けで当町役場庁舎内に「小田川支所」を設置し、支所長中村広氏ほか三人の職員を発令、去る十一日から業務を開始しました。小田川支所の仕事の主なものは小田川ダムに関連のある各用水の系統別の流量測定、乾田化の試験、平野部の排水計画のダム工事の進行状況の調査などです。



【写真】看板をかける中村小田川支所長(左)

6月の解説と行事

陰曆の六月の呼び名には田植月、風待月、嘗夏月、鳴神月、すずくれ月、松風月などがある。また中国では林鐘、季夏、元陽、焦月、長列、炎陽などというが、わが国では本来の呼び名は「みな月」である。...

みなづき

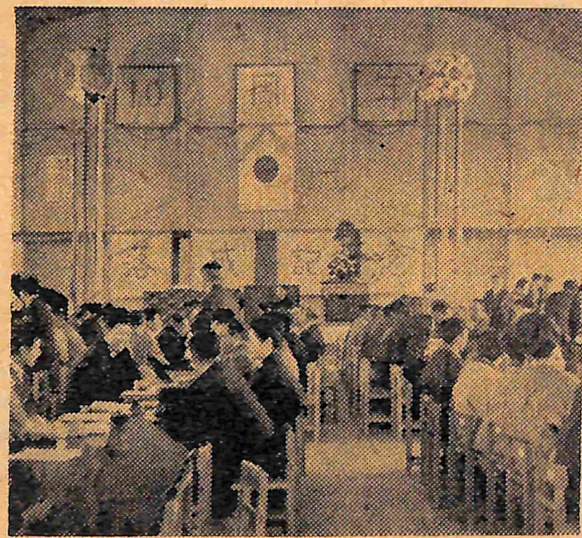
主要行事

- ▽気象記念日(6月1日)
▽電波の日(6月1日)
▽人権擁護委員法施行15周年(6月1日)
▽厚生年金法施行21周年(6月1日)
▽救らいの日(6月25日)
▽計量週間(6月1日~7日)
▽水道週間(6月3日~9日)
▽高圧ガス危害予防週間(6月4日~10日)
▽農業災害防止運動(6月14日まで)
▽全国安全週間準備月間(6月中)
▽船員労働安全衛生月間(6月中)
▽火防体制の強化(6月中)
▽雨の日の交通安全(6月中)
○入梅(6月12日)
○夏至(6月22日)

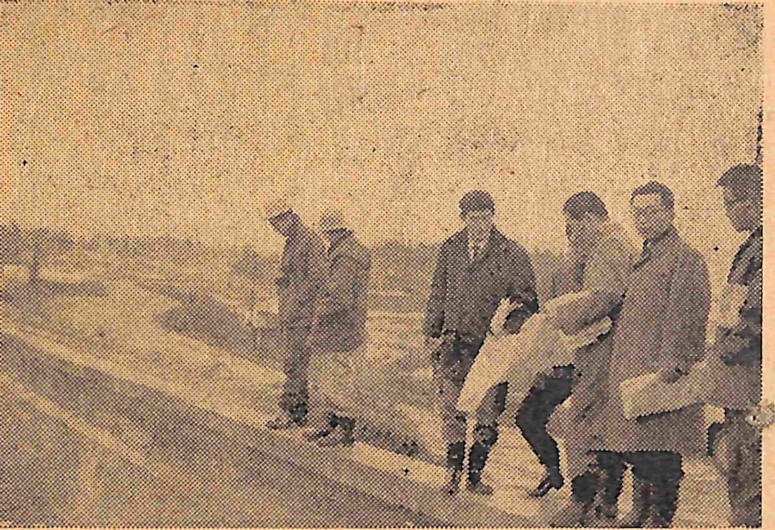
金高の十周年記念

PTA ピアノ、体育施設など寄贈

県立金木高校では去る五月一日、創立十周年、体育館落成、県立移管を記念して盛大に式典を行いました。当日は、県知事(代理)をはじめ三上町長、花田県議、田沢代議士など来賓多数が参列し、式典は午前十時新築なった体育館ではじめられ、校長挨拶に続いて功労者表彰、来賓祝辞などがあり、十一時半式を閉じました。



【写真】金高十周年記念式典会場

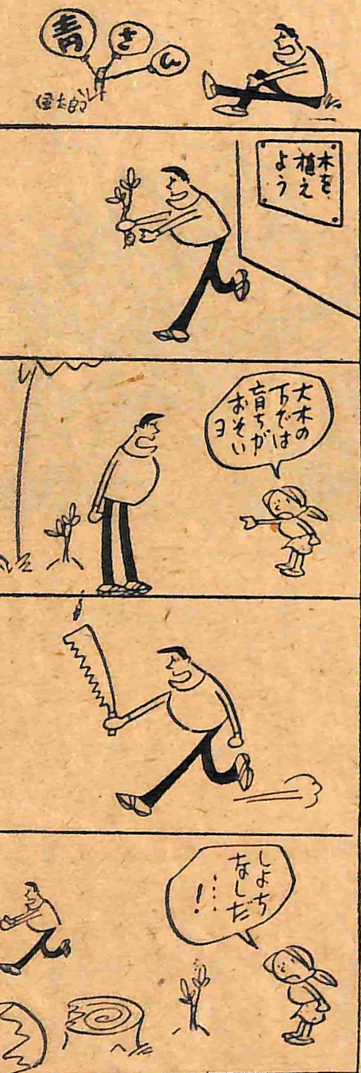


【写真】ダムと関連する藤枝湖池を調査する農林省、県の保官

人口動態

Table with population statistics for 昭和38年4月30日現在. Columns include gender, district, and various demographic categories like birth, death, migration, and marriage.

タバコは町のお店で
昨年は町税として約345万円
私たちが毎日生活する上で、この調査に要する費用を予算に計上する場合は「一般調査費」という科目で、あるいはその事業については実現する可能性が100%あるとみてよいのだそうです。



【漫画】木と人

ラジオ農業学校用テキスト
価格 一部 二百二十円
販売所 金木地区農業改良普及所 金木町役場産業課

人事異動
△総務課長補佐兼財政係長(財政係長兼運営主任) 今鶴七(運営主任) 村松太郎(総務課行政係長) 岩村太郎(総務課行政係長) 伊丸(総務課) 新採用 神喜智郎(厚生課) 新採用 高橋(五月二十二日付け)

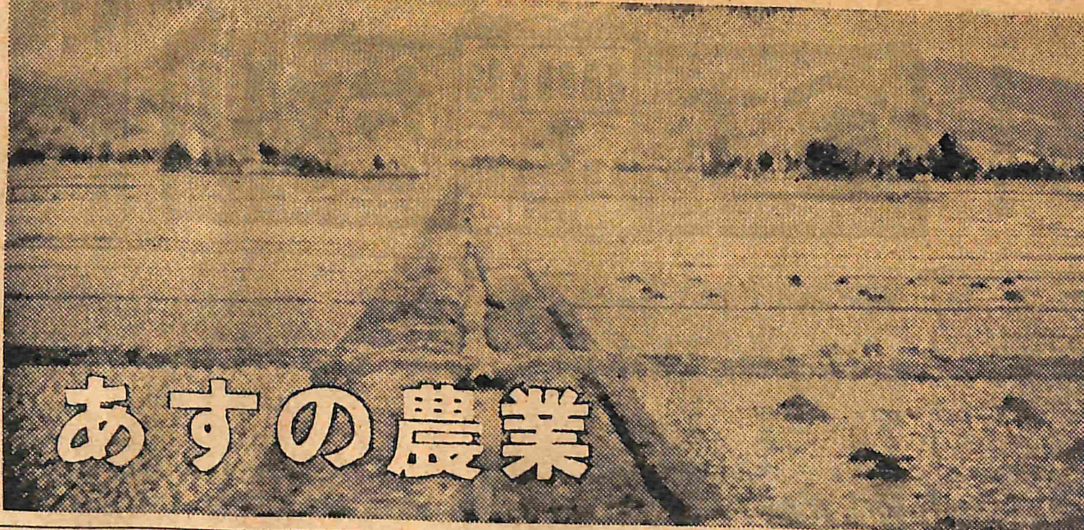
金木春秋
○田植えがはじまり、農家の方々はこれからますます忙しくなるばかり。そのうえ「三チャン農業」といわれるような状態では、まことに気の毒です。

○弘大金木農場で、さる十日この地域はじめて「空からの農業」を試験的にとりあげ、水稲の直播は成功したといわれていますが、六十七(六反七畝)の播種に要した時間が「一分一秒」という短いもの。...

私たちの町では、基幹作目を米、リンゴ、鶏とし、昭和38年、39年の2年間を計画年度とし、40年度から実施年度にはいる予定で『農業構造改善事業』の指定を受けるため、ことし1月、県知事あて申請書を出しましたが、①事業構想にある土地基盤整備事業に關係ある場所は、津軽総合開発に關する事業（小田川ダムなどを含むかんがい排水事業）の調査段階にある。②關係する農協の事業受け入れの体制が十分でないという理由で本年度は指定されないことになりました。

『農業構造改善事業』は、いろいろな問題はあるとしても、県内でもすでに昨年から一部市町村が実際に仕事を始めていますが、この事業の指定地域となるための必須条件となっている『土地基盤整備事業』については、当初、国の補助が5割でしたが、昭和37年度には、全国都道府県に対し補助2割相当の交付金を出しており、県はこれを事業実施地域に県補助金として交付しており、本年度からは特別交付金として将来も続ける公算が強く、実質的には7割補助となり明るい希望ももてるようになりました。

この事業は、新しい村づくり、とはほぼ似た要領で、今後7～10年間にわたって全国市町村を指定し事業を進めていくのですが、町当局としては、今回、指定は受けられなかったものの、今後農家のみなさんとジックリ話しあい、基幹作目などを再検討のうえ、1日も早く受け入れ体制をととのえたいといっています。



あすの農業

農業構造改善という言葉は、農業基本法では次のように説明しています。『耕作している農地面積を大きくすること、耕作している農地をなるべく1カ所にまとめること、家畜をとり入れること、機械化を進めること、農地の所有や移動に無理な制限をしないことなどを行なうて、農業を近代化していくことである』としてあります。

農業構造改善事業

農業の近代化が目標

十年間に全国市町村で実施

- 農業基本法にうたわれている『農業構造改善』は、国の産業開発といふ大きな見方に基づいて政策をたてたり、裏付けしていくことについて。
- いるのですが、現在実施されている『構造改善事業』は、一市町村単位で、位置を二地域として、三年で補助、融資を含み一億二千万円の事業を。
- するところであって各市町村全域にわたるのでなく、ほんの一部地域に。
- 実施されるものなのです。
- したがって、農家個々の方々の熱意と、自主的な工夫によって解決しなければならぬことがたくさんあるのです。
- とらえて、農業構造の改善とはどういうことなのか、また実際にはどうやって進められるのか、全国農業会議所発行の小冊子からその概要を。
- 紹介しましょう。

農業の体質改善

はできるのか

農業の構造改善について、もうすこしわかりやすくいえば、一農家当たりの経営面積を大きくして一人が耕作する面積をふやし、機械の力をかりて手間をばらばら、これからの消費のびることが約束されている畜産なり、果樹などの各地に適した農作物をとり入れ、収入も都会的なものになるような農業経営に切りかえていくことが構造改善の大筋なわけですね。

すでに、進んだ農家では、自分の力だけで、努力をして、やりとげた人もたくさんあります。一戸でなく数戸が力をだして合せて都会の人に負けない所得をあげる農業にはげんでいる方も多くいます。このような働き方は非常に正しいやり方なのですが、農業全体から見ると、できる人が少ないわけですね。

そこで、ことしから、約十年ぐらいの目標をもって、市町村が農業の建て直しを計画し、その計画が実現するように、国の予算や都道府県の予算、市町村の資金と農家に対する融資（近代化資金や農林漁業金融公庫からの融資）で、この分は農家が返済することになる直接的な負担）によって、各農家がばらばらでなく、全体として農業の体質改善を進めようというところから始めるわけですね。

このように農業のやり方をいろいろと建て直すことを、国の産業開発という大きな見方に基づいて政策をたてたり、裏付けをしていくことを農業構造改善といふので、そして、具体的な仕事として事業を行なうことを農業構造改善事業といふので。



【写真】農作業に大活躍する大型トラクター

とにか、明治以来、一農家平均だいたい一畝を耕作し、米と麦を中心とした農業を続けてきたのですから、ここで面積をふやすことに重点を切りかえらざるを得ないわけですね。大変なことで、大改革なわけですね。

ただ昔と世の中が変わってきて農業の働き手が、だんだん減っています。とくに若い人が減っています。それなのにだいたいの昔と同じ方法で農業は続けられているので、人手が足りないわけですね。雇い人もなかなかいません。思い切った働き手は必要です。雇い切らなければならぬわけですね。雇い切らなければならぬわけですね。雇い切らなければならぬわけですね。

三カ年で事業を消化

一市町村平均は一億二千万円

自立経営を中心にして農業構造改善事業をするためには、国なり政府はどんな手を打つのでしょうか。またすでにどんなことを手打ったかということを見ましましょう。

大きくわけて二つになります。その一つは構造改善と取り組む農家の人が、いき取り組んでも法律のかがあって動けないというのでは、何にもなりませんから、そのようなかべをとりのはらうことですね。

いま一つは、金の面で動きがとりにかかっていますが、大体全国を平均すると、三から三億五千万円、都会とつりあう収入のある経営と、はならないのが現在の姿でしょう。しかし、収入の面からみれば、前年からの増えは、やはり都市収入の増加に追いつくために、いま一歩経営面積をふやす改善が行なわれつつあるわけです。

三、四の先進国でも、やはり自立経営を中心にして農業の改善がした農村が政府の目標として明らかになっています。

面積ふやし自立経営

経費と労力節減を協業で

それでは、構造改善を進めて政府はどのような農村をつくっていくか、どうしているのでしょうか。それは、都会とつりあいのとれる、収入なり生活のできる適正な規模の農家を多くつくるといふことですね。農業基本法ではこのように農家を『自立経営』とよんでいます。

ヨーロッパの先進国でも、やはり自立経営を中心にして農業の改善がした農村が政府の目標として明らかになっています。

六月の農事メモ

田植えの促進は六月五日ごろまでに終わるように。苗代跡の手入れは保温折衷苗代跡には腐敗五号等の耐肥性の強い品種を付け替える。畑肥は腐熟堆肥を多量に施し、そきい等を付け替える。水管理は低温が予想されているので、水のかけひきに注意し、水面上昇資材の利用を考慮する。田の草取りはPCC等の初期除草剤を利用し手労働をなるべく少なくするよう。食害害虫の防除は低温が予想されるのでドコロイ虫、イネヒメハモグリバエの発生に注意し、適期に防除する。深層追肥は一〇・五〜二・五キログラムが適期である。

実グサレは早くとる。実グサレは株グサレにならないようにつみどり地中深く埋める。コナカイガラムシ対策。斑点性落葉病対策。ハリトシの産卵に注意。摘果は早や目に終わる。紅玉、陽光痘予防の実施。休養鶏は湯浴。豚は三頭身に一果、テリス、印度豚は湿度を上げ、虫を防ぐ。梅雨期は天候も不順で、雨の日の多く、畜舎や運搬場は湿度の高め、豚にもっとも好ましくない季節です。畜舎の汚れた糞をそのままに取り替えず、また夜窓を開放し、換気をよくします。運動場には排水溝をつくらせたり、土盛りをし月下旬まで二、三回中耕除草を行なうこと。土寄せは絶対行なわないこと。ネキリムシ、ヨトビなど。

ウガの防除。成鶏は梅雨期の管理、鶏舎内の乾燥、換気をほかる。飼料の腐敗に注意、緑飼を多給する。飲水を常にきれいにしておく。回虫、シラミ、ワケ毛の駆除。鶏痘予防の実施。休養鶏は湯浴。豚は湿度を上げ、虫を防ぐ。梅雨期は天候も不順で、雨の日の多く、畜舎や運搬場は湿度の高め、豚にもっとも好ましくない季節です。畜舎の汚れた糞をそのままに取り替えず、また夜窓を開放し、換気をよくします。運動場には排水溝をつくらせたり、土盛りをし月下旬まで二、三回中耕除草を行なうこと。土寄せは絶対行なわないこと。ネキリムシ、ヨトビなど。

5月20日生まれの赤ちゃんに

記念苗木贈呈

県緑化推進委員会では、天皇皇后両陛下の御来県を記念して、植樹祭当日（五月二十日）に生まれた赤ちゃんに苗木を贈呈することになりました。

樹種は、キリ、イタヤホブナ、アズキ、クリなどですが、一人に対して二本贈呈することになっています。該三者（の親）は早めに役場産業課に連絡してください。